

平成29年度貝毒原因プランクトン出現状況 (No.3)

通報番号 (MG) - (29) - (10)
 通報月日 平成29年4月25日
 機関名 宮城県水産技術総合センター

調査地点	調査月日	採水層 (m)	水温(°C)		塩分	貝毒原因プランクトン出現数(細胞数/L)						備考	
						<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	<i>Alexandrium</i> spp.		
						4月24日調査	4月17日調査	4月24日調査	4月17日調査	4月24日調査	4月24日調査		4月17日調査
荻浜内湾	4/24	0~10	0m	9.3	33.11	0	0	30	0	0	300	110	
			5m	9.1	33.25								
			10m	8.7	33.39								
荻浜沖合	4/24	0~10	0m	10.2	32.41	0	0	0	50	0	30	230	
			5m	9.4	32.85								
			10m	9.2	33.08								
			15m	8.4	33.57								
塚浜	4/24	0~20	0m	9.8	30.69	0	0	10	10	0	30	30	
			5m	9.3	32.51								
			10m	8.8	33.49								
			15m	8.5	33.67								
			20m	8.4	33.74								
		B-1	8.2	33.81									

※B-1は29.0 m

※プランクトンを計数するための採水方法を昨年度までは、0m,5m,10m等の層別に採水していましたが、平成29年度からは荻浜では0~10m、塚浜では0~20mまでホースを使用して柱状に採水する方法に切り替えました。このことにより、貝毒原因プランクトンがどの層にいても採取できるようになりました。(これまでと同じく海水1L当たりのプランクトン数を表示していますので、数値は大きくは変わりません。)

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン *Alexandrium* spp. は前回(4/17)と比べ荻浜内湾で大きく増加しました。一方で、荻浜沖合では減少し、塚浜では同様の密度を維持しています。
- ・下痢性貝毒原因プランクトン *D. fortii* は依然として確認されませんでした。一方で、同じ下痢性貝毒原因プランクトンである *D. acuminata* は僅かですが荻浜内湾と塚浜で確認されました。
- ・荻浜の表面水温は、前回の調査(4/17)時より、内湾では0.1°C昇温し、沖合では0.4°C降温しました。また、塚浜の表面水温も、前回の調査(4/17)時より、0.4°C昇温しました。
- ・次回調査日は5/1を予定しています。

担当: 環境資源部 山崎
 TEL: 0225-24-0139, FAX: 0225-97-3444

***次ページに参考情報があります**

貝毒プランクトン参考情報

調査地点	調査月日	採水層(m)	貝毒原因プランクトン出現数(細胞数/L)						備 考	
			<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	<i>Alexandrium</i> spp.		
			4月24日調査	4月17日調査	4月24日調査	4月17日調査	4月24日調査	4月24日調査		4月17日調査
十三浜	4/24	0~10	10	0	60	180	0	20	20	県漁協採水
谷川			10	0	10	10	0	60	40	県漁協採水
鳴瀬		0~20	0	-	10	-	0	180	-	水技センター採水

・今回の調査では、鳴瀬を追加しました。

・麻痺性貝毒プランクトンの*Alexandrium* spp.は、谷川で前回の調査(4/17)に比べて増加しました。

・下痢性貝毒プランクトン*D.fortii*は十三浜・谷川で新たに確認されました。また、*D. acuminata*は十三浜で減少し、谷川では同等の水準でした。